

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成19年 9 月 4 日

事業所番号	2775300532	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	医療法人 仁済会	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
事業所名	グループホーム 高石	評価調査日	平成 19 年 9 月 4 日
所在地	大阪府高石市高師浜3丁目3-31 (電話) 072-263-5706	評価確定日	平成 19 年 9 月 18 日

【情報提供票より】 (平成19年8月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年12月1日		
ユニット数	ユニット数 1	利用定員数	9人
職員数	7人 常勤 4人	非常勤 3人	常勤換算 6人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄筋コンクリート 造り 5階建ての 5階部分)
-------	----------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42,000円	その他の経費 (月額20,000円)
敷金	無	
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 (150,000円)	有の場合 償却 3年
食材料費	朝食 円	昼食 円
	夕食 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円	

(4) 利用者の概要 (8月13日現在)

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	1名	要介護2	1名
要介護3	6名	要介護4	1名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	88才	最低	72才 最高 100才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高石病院(内科、リハビリ) 綾園歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

医療法人仁済会 高石病院の5階に併設されたグループホームで、この法人の医師、職員の連携により充実した介護を行っている。利用者のお一人づつについては、過去、現在の様子をセンター方式と職員チームの努力により詳細に記録されており、この記録作成の努力は立派です。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	場所違い防止の表示と一日の生活時間のスケジュール表は分かり易く表示されていた。利用者の方々の潜在能力と、それを生かせる能力の発見については、センター方式も利用して生活暦、習慣、嗜好等を日常の中で見つけて引き出し、その記録を昨年から積み重ねてきて、ケアの改善の資料としている。ホーム便りは写真入りで発行され、ご家族へ送られて喜ばれている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
重点項目②	今回の外部評価実施に当たって職員会議で現状の見直し、反省して問題点の発見に努めてきた。この前提条件として昨年从上欄に記載した通り、利用者一人ひとりの日常生活の中で職員は記録すべき言動の把握に努めてきたファイルがある。
	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目: 外部4、5、6)
重点項目③	平成18年8月に第1回の運営推進会議を開催し、開催を重ねた結果、最近では校区の行事への参加の勧誘もあり、また地区としてのホームへの援助のあり方についても話題となってきている。ホーム側からも地区への提案を行う予定で、更に交流を深めることで介護への良き効果が期待されます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 外部7、8)
重点項目④	家族アンケートの結果では、職員の介護について殆どのご家族は感謝されています。昨年秋頃、職員の法人内の人事異動があって少しご不自由を感じられたこともありましたが、今年の春からは安定し、更に過去を上回るレベルの介護を行っています。
	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	昨年8月に運営推進会議が開催されたお陰で高石市の校区福祉委員会の委員長の出席によってホームとの交流を進めて頂いています。地元の方々との交流は、夏の「盆をどり」に誘って頂き、早速参加させてもらっています。

評価結果（詳細）

（網目部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての理念はホーム玄関に掲げ御家族にも分かるようにし、さらにホームとしての目標も共用広間に掲げて利用者の生活のパートナーとしての活動を支えられるよう努力している。		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、職員で基本理念を唱和しました職場毎にも目標設定を検討している。		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	高石市校区福祉委員会との連携によって昨年からの交流が進められている。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議にて説明を行っており、外部評価を活かして新たな改善を目指している。		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	昨年からの開催してきた運営推進会議によって地元の方々との交流が進んで来ている。今年度からはホーム側から積極的に呼び掛け、利用者さんの地域の知人への声かけも出来ればと考慮している。	○	ご利用の方々の生き甲斐、介護の向上ともなり、また地域にはなくてはならない存在として交流の発展を期待いたします。
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に市役所の訪問を行っており、同時に他のホームとの連携を図って介護レベルの向上を進める予定となっている。		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	家族来訪時には詳細に報告を行っており、その際ご本人のことをなるべく多く聞き出せるよう用紙(センター方式)を利用している。		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時に管理者、職員がご家族から意見、不満がないか伺っている。運営推進会議でも報告を行ってご家族の御意見をお聞きしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	<p>昨秋、法人内で職員の移動がありその影響が少し出ましたが、今年の春からは昨年までのレベルを上まわる介護を行っている。</p> <p>喜ばしいことです、今後も問題点を踏み越えて更なる向上を期待します。</p>

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	<p>運営者が特に力をいれ、職員の研修は法人全体の方針として実施されている。法人全体で各委員会が組織され職員は勉強会で研修を受けている。</p> <p>良い研修会を続けてこられました、今後も更なる向上を目指してください。</p>
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		<p>福祉の技は人の知恵の積み重ねではないでしょうか、3人寄れば文殊の知恵でよき交流を目指してください。</p>

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		<p>ご家族からの聞き取りと平行してご本人へも担当者が注意を払って見守り、また横について話かけて聞き取りを心がけている。</p>
--	----	----	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		<p>共に暮らす家族として職員が日々全員の情報の共有を図っている。</p>
--	----	----	--	--	---------------------------------------

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		<p>東京センター方式でのケアマネジメントをもとにご本人、ご家族に寄り添って過去から現在までのことを聞き出す努力をしている。このデータを介護の基本としている</p>
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	○	<p>職員の日々のケアの中での気づきを毎日の申し送り等で記録し職員会議で話し合い、利用者の思いを介護に反映させるよう努力している。</p> <p>大変良い介護の基礎データの積上げが出来てきており立派です。今後ともご努力ください、</p>
--	----	----	---	---	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	16	37	<p>○ 現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

	17	39	<p>○ 事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
--	----	----	--	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

	18	43	<p>○ かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している</p>		
	19	47	<p>○ 重度化や週末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

	20	50	<p>○ プライバシー確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
	21	52	<p>○ 日々の、その人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

	22	54	<p>○ 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
--	----	----	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		○ 入浴を楽しむことができる支援	普通の生活の希望で夜間の入浴も適えられよう調整を行って入ってもらっている。		
23	57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

		○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援	一人ひとりの介護のための記録の充実を行ってきており、得意分野、好き嫌いなことを引き出しながら生き甲斐を見付け出し、皆で笑い楽しい生活をしていただけるよう支援している。		
24	59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
		○ 日常的な外出支援	本人の希望だけでなく、職員の声がけで散歩に誘って行くこともやっている。		
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している			

(4) 安心と安全を支える支援

		○ 鍵をかけないケアの実践	居室の鍵掛けはご本人に委ねている。日常の外部との出入りはエレベータに限定されているので職員全員が入口ホールに注意を払っている。		
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
		○ 災害対策	消防署の指導により年2回避難訓練を実施している。地域の有志の方の支援もお願いをしている。	○	法人内で委員会を組織されて、全事業所が一体となって安全性を高めることの検討が進められているので期待します。
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

		○ 栄養摂取や水分確保の支援	カロリーはチェックされたメニューとなっており、水分摂取も計量されている。また、食事を楽しむ果物も副えられている。		
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

		○ 居心地のよい共用空間づくり	共用のリビングは5階の角部屋で大きなガラス窓の明るく見晴らしのよい空間となっている。季節の花、BGMや装飾など心地よく過ごせるよう工夫してある。		
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
		○ 居心地よく過ごせる居室の配慮	使い慣れた家具や思い出の品物を持ち込んで頂き、気ままに過ごせるよう工夫している。		
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			

